

1 総代会の仕組み

総代会制度について

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互惠」の精神を基本理念に、会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。

当金庫は、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、信用金庫法第49条の規定に基づき、総会に代えて総代会制度を採用しています。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は、総会と同様に、会員一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。

また、当金庫では、総代会に限定することなく、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切に、さまざまな経営改善に取り組んでいます。

なお、総代会の運営に関するご意見やご要望につきましては、お近くの営業店までお寄せください。

総代会は、会員一人ひとりの意見を適正に反映するための開かれた制度です。

2 総代候補者選考基準

- 当金庫の会員である方
- 就任時点で80歳を超えていない方
- 地域における信望が厚く、当金庫の総代として相応しい方
- 当金庫の理念・使命をよく理解していただける方
- 地域の情報に通じ、当金庫に対する協力者である方
- 金庫経営および業績発展に寄与していただける方
- 良識をもって正しい判断をしていただける方

3 総代会と総代選任方法

(1) 総代の任期・定数

- 総代の任期は2年です。
- 総代の定数は、140人以上190人以内で、当金庫の営業地区を選任区域に分け、会員数に応じて各選任区域ごとに定めています。

現在の総代数は147人です。(令和5年6月14日現在)

(2) 総代の選任方法

総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する役割を担っています。

そこで、当金庫の総代の選考は、信用金庫法、定款、総代選任規程および総代候補者選考基準に基づき、次の手順を経て選任します。

① 総代会の決議により、会員の中から総代候補者選考委員を選任する

- 総代会の決議により、選任区域ごとに会員の中から選考委員を選任する
- 総代選考委員の氏名を各営業店の掲示場に掲示する

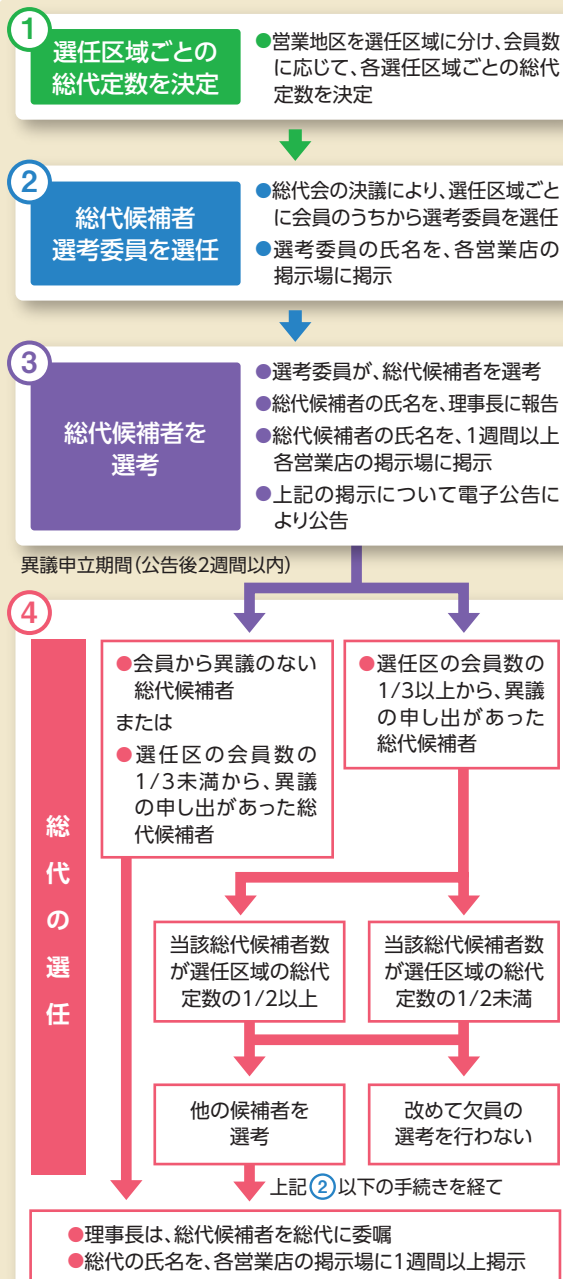
② その総代候補者選考委員が総代候補者を選考する

- 総代候補者氏名を各営業店の掲示場に掲示する
- 上記の掲示について電子公告により公告

③ その総代候補者を会員が信任する

- 総代の氏名を各営業店の掲示場に1週間以上掲示する(異議があれば申し立てる)
- 理事長は、会員の代表として総代候補者を総代に委嘱する

総代が選任されるまでの手順について



4 第97期 通常総代会の決議事項



令和5年6月14日開催の第97期通常総代会において、次の事項が報告および付議され、それぞれ原案どおりご承認いただきました。

(1) 報告事項

第97期(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告に関する件

(2) 決議事項

- 日程第1. 総議案 第1号
令和4年度 剰余金処分案承認に関する件
- 日程第2. 総議案 第2号
優先出資の一部消却に関する件
- 日程第3. 総議案 第3号
「定款」の一部改定に関する件
(1) 地区の追加に伴うもの
(2) 店舗統廃合に伴うもの
(3) 代表理事に伴うもの
(4) 総代の定数変更に伴うもの
(5) 優先出資の総口数の最高限度の変更に伴うもの
- 日程第4. 総議案 第4号
出資会員の除名に関する件
- 日程第5. 総議案 第5号
理事選任に関する件
- 日程第6. 総議案 第6号
監事選任に関する件

5 総代の属性等別構成比

職業別	法人代表者	95.92%	個人	2.04%
	個人事業主	2.04%		
業種別	製造業	48.61%	不動産業	11.11%
	卸売業・小売業	18.75%	各種サービス	6.94%
	建設業	7.64%	運輸業	6.94%
年代別	70歳以上	42.86%		
	60歳以上70歳未満	30.61%		
	50歳以上60歳未満	23.81%		
	40歳以上50歳未満	2.72%		

6 総代の氏名

現在の総代氏名は、下記のとおりです。

大阪シティ信用金庫の総代

令和5年6月14日現在
(順不同、敬称略)

選任区	人数	氏名
第1区 中央区、浪速区、天王寺区、生野区	18名	吉村 孝文 ^⑤ 本田 良介 ^⑤ 松元 邦夫 ^⑤ 中村 芳弘 ^⑤ 住吉 栄之助 ^① 鴻池 良一 ^⑤ 松井 正武 ^⑤ 高澤 功一 ^④ 鳥本 昌幸 ^④ 村井 啓記 ^④ 東野 宗昭 ^⑤ 西谷 伸介 ^⑤ 樋富 隆治 ^⑤ 中田 陽裕 ^③ 吉田 夢佳志 ^⑤ 北橋 成夫 ^③ 奥井 孝二 ^① 栗井 邦英 ^③
第2区 西区、港区、福島区、此花区、西淀川区、大正区、尼崎市	19名	野村 伸 ^⑤ 西谷 和夫 ^⑤ 山崎 徹 ^⑤ 樹谷 博司 ^⑤ 松本 兼輔 ^⑤ 北村 勝信 ^⑤ 太田 満夫 ^⑤ 寺本 憲司 ^⑤ 奥内 英二郎 ^⑤ 小坂 圭一 ^③ 森 恵子 ^⑤ 高林 伸行 ^④ 小宮 光弘 ^③ 大島 久司 ^④ 野村 正美 ^⑤ 樋口 莊一郎 ^④ 中塚 賢治 ^⑤ 辻野 隆裕 ^⑤ 八木 利彦 ^⑤
第3区 北区、東淀川区、淀川区、吹田市、豊中市、摂津市、茨木市、高槻市、池田市、箕面市、伊丹市	13名	若原 康正 ^⑤ 保木 孝也 ^③ 黒川 展行 ^③ 井上 眞吾 ^② 吉田 栄一 ^④ 中嶋 眞理子 ^② 油井 康彰 ^① 北村 繁光 ^⑤ 西村 明秀 ^⑤ 高橋 昌良 ^④ 田村 節子 ^⑤ 吉田 政雄 ^⑤ 榎本 昭弘 ^⑤
第4区 旭区、都島区、守口市、門真市、寝屋川市、枚方市、交野市	13名	藤澤 誠一 ^⑤ 坪倉 日出夫 ^⑤ 富上 結生 ^⑤ 猪奥 年紀 ^⑤ 野田 幹夫 ^⑤ 北條 博史 ^⑤ 大江 美佐 ^③ 高橋 征二郎 ^⑤ 牧野 洋一 ^⑤ 陶 博一 ^⑤ 安田 一 ^⑤ 林 陽二郎 ^⑤ 大野 満 ^③
第5区 東成区、城東区、鶴見区、大東市、四條畷市	14名	津熊 浩司 ^⑤ 飯森 郁男 ^⑤ 藤原 一 ^⑤ 杵田 訓之 ^① 原 直宏 ^⑤ 石塚 はつ子 ^⑤ 碓 洋司 ^③ 唐金 吉弘 ^① 松原 清一 ^⑤ 淀 雅和 ^⑤ 安間 正晃 ^② 井上 算 ^③ 松尾 英樹 ^⑤ 網野 芳生 ^①
第6区 阿倍野区、東住吉区、平野区、松原市	12名	藤本 和茂 ^⑤ 内山 順吉 ^⑤ 山本 将義 ^⑤ 樋口 一夫 ^⑤ 長江 豊文 ^③ 藤澤 憲次 ^③ 小松 大二 ^⑤ 澤田 浩一 ^⑤ 八尾 栄一 ^⑤ 杉本 茂 ^③ 松岡 義則 ^③ 大八木 祥治 ^⑤
第7区 東大阪市、奈良市、生駒市、生駒郡、香芝市、大和高田市、北葛城郡、葛城市	27名	川口 凌太郎 ^⑤ 芳村 英夫 ^⑤ 森田 勝彦 ^③ 徳田 勝也 ^③ 東口 勝紀 ^③ 木下 吉数 ^⑤ 飯田 三智男 ^⑤ 笠原 幹司 ^③ 山本 秀雄 ^③ 今井 康之 ^① 松本 輝雅 ^③ 三井田 靖宗 ^③ 藤林 源治 ^③ 稲上 大三 ^③ 木田 潔 ^③ 田中 忠幸 ^① 白井 博 ^⑤ 西田 勝秀 ^⑤ 阪本 薫 ^⑤ 澤田 知宏 ^⑤ 木ノ本 裕 ^③ 永塚 隆夫 ^③ 清水 大道 ^② 福田 智子 ^③ 西濃 政男 ^⑤ 茨木 延夫 ^⑤ 内田 卓 ^⑤
第8区 八尾市、柏原市、藤井寺市、羽曳野市、大阪狭山市、富田林市、太子町、河南町、千早赤阪村、河内長野市	19名	西口 守 ^⑤ 酒本 昌寿 ^② 大屋 準一 ^⑤ 坂東 孝朗 ^⑤ 大床 直次 ^⑤ 岡村 博光 ^④ 田中 則男 ^④ 和田 正 ^① 熊谷 康正 ^① 上田 南洋 ^① 岩田 龍助 ^① 今井 敏雄 ^① 村上 興寛 ^⑤ 植田 光紀 ^④ 北橋 賢三 ^④ 御喜田 俊也 ^③ 門谷 佳樹 ^④ 松村 和英 ^④ 森嶋 勲 ^④
第9区 住吉区、住之江区、西成区、堺市、高石市、泉大津市、和泉市、忠岡町、岸和田市、貝塚市、熊取町、泉佐野市、田尻町、泉南市	12名	永吉 清治 ^⑤ 松山 孝 ^⑤ 森 啓 ^⑤ 福田 穂浪 ^⑤ 竹本 繁生 ^⑤ 竹中 和雄 ^⑤ 堂上 勝己 ^⑤ 甲斐田 安三 ^⑤ 小島 聡 ^③ 上野山 正作 ^⑤ 尾崎 和雄 ^⑤ 野口 眞弘 ^⑤

* 氏名の後の数字は総代への就任回数。
* 就任回数は、大阪シティ信用金庫となって以降の回数を表示。